

発行元 徳島県立中央病院ナニージャ編集委員会  
770-8539 徳島市蔵本町1丁目  
電話 088-631-7151(代) 平成22年7月発行(年4回発行)



# 県 中 的 情 報 源 ナニージャ

「ナニージャ」は待ち時間に効く読みグスリ

2010・夏・第11号



NOT  
ハカナキ、  
BUT  
ヒタムキ。



## MRSAってなあに？

三菱ラボ 細菌検査技師 桑田 真理

MRSAはMethicillin-Resistant Staphylococcus Aureus (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)の頭文字をとったものです。

黄色ブドウ球菌自体は非常にありふれた菌で、私たちの毛髪や皮膚、鼻粘膜、口腔、腸管などに常在しています。しかし本来は弱毒菌であるため、私たちの抵抗力がしっかりしていれば、重篤な病気を引き起こすことはめったにありません。

MRSAはこの黄色ブドウ球菌の仲間であり、基本的な性質は同じですが、耐性遺伝子を持っている点が異なります。つまり、通常の黄色ブドウ球菌と比べて抗生物質が効きにくくなっているのです。

MRSAも健康な人ではあまり問題になりませんが、お年寄りや乳幼児、入院患者さんなど免疫力の低下した人の場合、発症(=その菌によって感染症が起こること)してしまう危険性があります。そして一旦発症すると、薬剤耐性の面から治療に難渋する場合があります。しかし「菌の検出」が、必ずしも「発症」を意味するとは限りません。

実際、MRSAが鼻やのどに付着した状態のまま、無症状で過ごされる方もたくさんいらっしゃいます。このようにMRSAが付着しているけれども、発症はしていない状態を「保菌」しているといいます。ちなみに保菌の場合には、治療の必要はありません。

一方、MRSAを「発症」している患者さんというのは、MRSAが原因で発熱などの感染症状を呈している場合で、この場合は抗MRSA薬による治療が必要になります。

最後に、MRSAは接触感染で周囲に広がっていきます。特に、「手→手」を介して広がっていくことが多いので、予防には『手洗い・手指消毒』が重要です。また保菌しないように、『うがい』を励行することも重要です。

MRSAに限らず、他の多くの菌による感染や蔓延の予防にもなりますので、帰宅後や食事前には必ず『手洗い・うがい』の習慣をつけましょう。

監修：呼吸器内科 新川邦浩



こ～んな感じで見えます。ブドウの房のように見えるので、ブドウ球菌と呼ばれます。

MRSAのイメージ



## 研修医が主役

自分にとっての仕事とは

臨床研修医2年目 片岡 伸一



「大人が本気で遊べば仕事になる。」自由人を自称する実業家で随筆家、高橋歩の言葉。色々な解釈の仕方があると思うが、人生において自分と仕事との関係はこうあればという僕の理想だ。

仕事との関わり方は人それぞれだと思うが、収入を得て生活していくため、趣味や遊びを楽しむために仕事をする人が大半だと思う。生活していくための仕事=遊びとできる人は少ない。

僕の父は消化器内科のクリニックを5年前から開業していて、「仕事が一番の趣味」という人だ。自分の生活が仕事であり、遊びである。クリニックで働く父はとても楽しそうで生き生きしている。家に帰っても、勉強しない日は落ち着かないと言って文献や本を読んだりしている。僕は子供の頃、そんな真面目で仕事人間な父を、自分とは生き方や考え方がちがう種類の人間だと思っていたが、今では仕事に対する父の姿勢を、とてもうらやましく理想的だと思うし、尊敬している。今僕は研修医で、興味を持つこと、やりたいこと、今後どんな医師になりたいか、一生の仕事として何をしていくべきかを模索中。

医師の仕事は人の命を扱う仕事だから、中途半端な気持ちではやっていけないし、一日の大半を病院で働いて過ごすことが多いから、自分のやりたいことが仕事で、遊びや趣味と同じで楽しいと思えることなら最高だと思う。

僕がこの一年を通じて学んだこと。自分が一番面白いと思うことに妥協しない。目標のためにはどんな労力も惜しまない。その信念を貫き通すという覚悟に物おじしないということ…。こういったことの積み重ねの結果、遊び=仕事という理想的な関係ができるのではないかと思う。

僕が父に対して思うのと同じように、9月に生まれる僕の息子が僕の背中をみて成長してくれるよう、本気で遊んでそれが仕事といえるようになるまで、僕も今はたくさんのお話を吸収し、努力を惜しまず頑張ろうと思う。

## 編集部からのつこみ

もっとキャラ～イ話でもよかったのよ



いきなりコーヒーレイク  
皮膚科 敷地 孝法

# 新町復興計画

新町に元気がない。

昭和40年代、私が子供の頃は丸新百貨店が全盛期であり、経済・娯楽・ファッションの中心は、まさしくあの一角にあった。庶民にとって丸新の最上階でお食事なんていうハレの日は、よほどの特別な事がない限りなかったと思う。

時は流れて大学生の頃（昭和60年頃）、合コンの待ち合わせ場所といえば「丸新前」。男女のグループが20メートルくらい離れて、微妙にお互いを意識しながら東新町のアーケードを歩いていくさまは、今から思えば滑稽としか言いようがない。しかし皆が共通して知っているところが丸新しかなかったのである。それほど丸新、いや新町は徳島のメインストリートであり、ハチ公前であった。

それにしても新町に元気がない。昼間でも閉めている店が目立つ。12月、クリスマスの時期にアーケードを通るとジングルベルのBGMが逆に恐怖心をおおる。テロリストがビルを占領するのではないかと恐ろしくなるのだ（**ダイハードか!**）。

これではあかん！何とか新町のにぎわいを復活させる方法はないものか。

**ある!!**

**屋台を出すのだ。** まずは年1回。

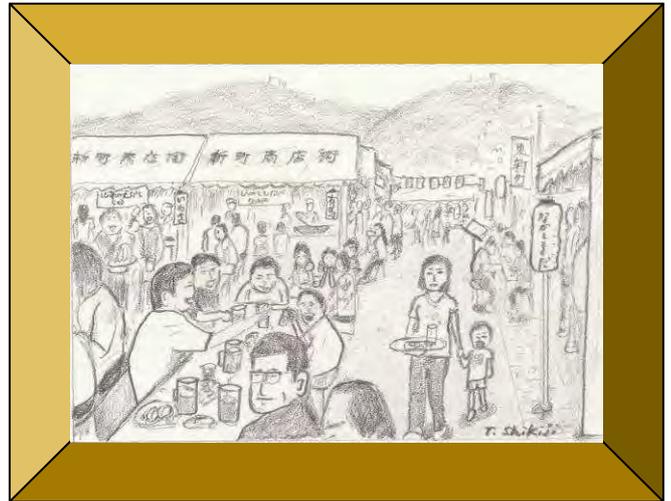
名付けて『**徳島A級グルメ 屋台でボン!**』

あえて言う。B級ではない。A級にこだわる。新町周辺から富田町界限は庶民派のお店から高級料亭まで、素敵な料理屋がたくさんある。またタウン誌ではよく見かけるが、遠いため行けない県南や県西部の有名店も多いだろう。これらの地方のお店にもお願いして1日だけ屋台を出してもらおう。場所は東、西のアーケード内と演舞場の道路。当然当日は交通規制する。地下駐車場はタダにする。近くの公共施設の駐車場もタダで解放する。商品は1品のみで500円均一。なるべく多くの店の料理を試食できるように安くして少量にするのだ。

さてどのようなメニューが出そろうだろうか。日本料理店の「塩むすびとだし巻きたまごのセット」とか中華料理店の「中華風たこ焼き」とか、「決して家では作れない洋食屋のハヤシライス」とか、「鹿肉の刺身」、「山菜の天ぷら」等も登場するかも…想像しただけで楽しくなってくる。

ポイントは、狸祭りや花はるフェスタのように客を分散させないことである。新町のみならず客を集めるのだ。ラーメンだけであれだけ人が集まるのだから、おそらく当日の賑わいぶりは想像を絶するだろう。商店街はこれをほうっておく手はない。便乗して大バーゲンを開催する。当日のみ有効の還元ポイント券も発行し、その当日になるべく多くの店に足を運んでもらうようにする。ええいこの際、近くの開業医さんも協力し、無料の検診や食事指導なんかもやっちゃえ!

むろん、「N新町〇丁目クリニック」のS先生も借り出されることになるであろう。



とあるグルメ番組で、徳島ラーメンが全国B級グルメのチャンピオンとなっていたが、個人的にはこんな失礼な話はないと思う。徳島ラーメン(中華そば)はB級か? それほど、ジャンキーな食べ物か? 東京の有名ラーメン店は一軒もノミネートされていないんですよ。徳島の中華そばは、阿波の伝統が育んだ世界に誇る食文化であって、B級などという枠組みで評価されては困るのである。(一方、宣伝になってラッキー...という説もあるが...)

**ご意見箱** (皆様方からいただいたご意見  
にお答えするコーナーです)

**【ご意見】**雨の日、院外駐車場から歩いてくる道のが遠くて、道路の状態も悪くて危ない。お年寄りが多いので、何か改善してほしい。例えば近い駐車場はお年寄り優先にするとか。

**【お返事】**ご意見有難うございます。新病院建築中のため、皆様にはご迷惑をおかけし申し訳ございません。駐車場入口に警備員が常駐しておりますので、お年寄りの方や足が不自由な方、ご気分のすぐれない方など、ご遠慮なくお申しつけください。ご不便の内容配慮いたします。

**【ご意見】**県立中央病院には、外国の患者さんは全く来院されないのでしょうか。日本人なら、不自由なく案内の文字を見て、安心していられると思います。しかし、外国の方の場合には、例えば案内についても日本語のみだと、1階のロビーでも不安になると思うので、中国語または英語での案内内容の文を、端に記入してみればいかがでしょうか?

**【お返事】**ご意見いただきありがとうございます。ご不便をおかけし申し訳ありませんでした。今回は総合案内を英語で表示させていただきました。他部署については、今後新病院に向けての検討事項とさせていただきます。ご不便がある時はご遠慮なく近くの職員にお申し付けください。今後もお気づきの点などございましたら、ご意見下さいますようお願い致します。



## 徳島編

徳島といえば、連想するのが阿波踊りである。阿波踊りの起源には諸説あるが、天正14年（1586）に徳島藩祖・蜂須賀家政が徳島城築城の完成祝いに自由に踊るようになったといわれ、徳島と蜂須賀家とは深いつながりがある。

少し歴史をさかのぼれば、蜂須賀正勝が天正13年（1585）6月の四国征討の功により、豊臣秀吉から阿波一国を与えられた。しかし正勝は老齢を理由に辞退し、嫡子の家政が代わって領主に封じられた。家政は阿波に入国して一宮城を居城としたが、湊津に「徳島城」を築城して移り本城とし、9つの支城（阿波の九城）を置いた。蜂須賀家は家政以来、国替えもなく、十五代世襲して明治を迎えた。今回、徳島城をはじめ県内の主な城跡を紹介したい。



徳島城・下乗橋

徳島中央公園に徳島藩祖の蜂須賀家政公の銅像が立っている。そこから、標高61メートルの城山を登ると、山頂に本丸、徳島城の天守閣が

置かれた東二の丸、西二の丸、西三の丸が階段状に配置されている。山頂は広く、眉山など四方を眺めるには最高の場所である。徳島城の石垣は青石と呼ばれる緑色片岩が用いられている。数寄屋橋は城の鬼門（北東）にあたる数寄屋門に架けられた太鼓橋であり、城の名残を感じさせる。

また旧徳島城表御殿庭園（国名勝）は桃山様式で、城山を借景に青石を配した枯山水庭と築山泉水庭で構成されており、必見である。1989年（平成1）に鷲の門が復元された。



徳島城・数寄屋橋



一宮城本丸跡

一宮城跡は徳島市一宮町にある。一宮神社の横の道を20分ぐらい木立の中を通り、堀切を越えると、本丸跡に着く。元和の一国一城令で寛永15年に廃城となり、本丸跡の周囲には石垣が残っている。

途中、明神丸から鮎喰川を望む風景は心地よい。県内にある山城の中で最高だと思う。行き帰りに一宮神社の太鼓橋を見ると心がなごむ。最近、この橋は徳島市民遺産に選ばれている。



秋月城跡

西条東城跡は、築城年代についてははっきりしないが、貞和2年（1346）秋月城の支城として築かれたとの資料がある。阿波市吉野町のJA一条支所の道路をはさんだ民家の一部に石碑が立っている。すこし離れた用水路が昔の堀であったとのこと。



岡崎城



撫養城跡

岡崎城は鳴門の市街を見下ろす独立丘、城山の山頂部に築かれた（別名 撫養城）。現在は、三層の模擬天守（鳥居記念博物館）が建てられている。城跡には妙見神社があるが、ここも城の曲輪に建てられて、神社本殿の北側に櫓台と思われる石垣が残っている。



牛岐城址公園

富岡城は、別名牛岐城とも呼ばれ阿波九城の一つ。阿南駅西側に2つの小山が商店街を挟んである。西側の小山の上に、「産業展示館」の三角屋根の展望台があるからすぐ分かる。

この2つの小山が、富岡城の本丸跡だ。昔は1つの山であったとか。城の北側を桑野川が流れ、城の堀の代わりとなっていた。城の遺構は産業展示館を建設する際に発掘したところ、富岡城の石垣が出土し、展示館の1Fに石垣が保存されている。現在城跡は、牛岐城址公園として整備され、牛岐城址館が建設されている。

次のページへ続く

## 城めぐり紀行4 続き



日和佐城

日和佐城は薬王寺前の「道の駅」から遠く眺めることができる。日和佐湾に突き出た半島の先端に位置している平山城である。本丸跡には観光用の模擬天守が

建てられ、日和佐勤労者野外活動施設として利用されていたが、現在は展望のみとなっている。



海部城址

海部城跡は海部郡海陽町鞆浦にある。徳島から国道55号線で新海部川橋を越え、すぐに左折し、東に進むと右側に「海部城跡」の石碑が見える。

その山が城跡であるが、登り口が見つからず、断念した。成書によれば「森志摩守村春と判形人の墓」があるという。



蛭子神社(仁宇城跡)

仁宇城跡は那賀町和食にある。徳島県の三大瀑布の一つの「大釜の滝」の見ての帰りに立ち寄った。蛭子神社が仁宇城の跡と

されている（『徳島県の歴史散歩』山川出版社）。神社は厳かな雰囲気があり、神社前には大楠公之像が立っている。那賀町仁宇にある「阿波九城 仁宇城址」の石碑を探したが、見つからなかった。蛭子神社から約2km離れており、機会があればもう一度行きたい。



勝瑞城址

勝瑞城跡は周囲を濠に囲まれ、本丸跡は昭和30年2月7日に徳島県の史跡に指定されている。城内にある見性寺は三好氏の菩提寺であり、境内には、

之長・元長・義賢・長治らの墓が並んでいる。町内には初代藩主蜂須賀至鎮の正室敬台院のゆかりの正法寺がある。



岩倉城跡

岩倉城跡は美馬市脇町田上にある。東の脇城とは密接な関係にあり、岩倉城との東の脇城の二城は地理的に近く相互連携することで防衛拠点機能を果たしていたが、次第に

主たる機能は脇城へと移行。現在までの地形改変により、本来の岩倉城の姿は大きく失われており、現在その痕跡が確認できるのは本丸跡と思われるこの位置のみである。（案内板より）



芝生城址

芝生城跡は三好市三野町芝生にある。三好長慶一族の本拠地。小川原家十一代義長は、池田の大西城を廃し芝生城を築き、姓を「三好」と改めここを居城とす。

すくなくとも長慶が河内国飯盛山城で病死するまでの100年間はこの城は三好一族の拠城であったと思われる（案内板より）。今は城跡の名残が感じられない。



大西城址

大西城跡は地元では「大西の丘」と呼ばれている馬の背状の小高い丘に築かれている。高校野球で有名な池田高校は、大西城跡の一角にあるのだ。

城の遺構は、池田幼稚園の東隅に「大西城跡」の石碑がある。幼稚園舎に沿って路地を入ると、本の丸石垣の一部が幼稚園舎の下に保存されている。遺構はないが、大西の丘の東にある諏訪神社あたりは、城跡の雰囲気を残している。



白地城跡

白地城跡は吉野川と馬路川の合流点に近い丘上に位置する。本丸跡には旧池田簡易保険保養センターが建っており、「白地大西城」の案内板がある。

周りを少し歩くと、石碑があり土塁がわずかに残っている。

このほかにも、県内にはいくつかの城跡が点在しており、機会を見つけては訪れたい。そして、いつかまた紹介したい。

### 参考文献:

・四国の城と城下町 井上宗和著 愛媛新聞社  
・徳島県の歴史散歩 山川出版社

・名城をゆく 徳島城・洲本城 小学館





# 連載 ロバートの自転車旅行記 10 ～北海道自転車旅行(1)の巻～

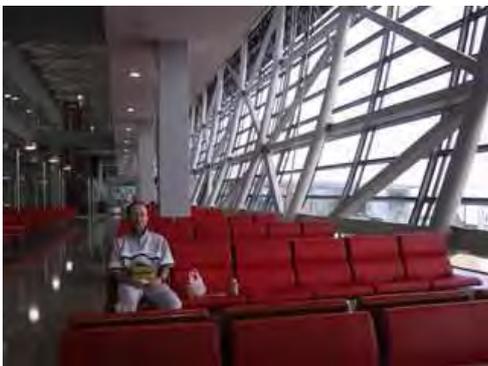
事務局 環 隆志

4年前にロードバイク（競輪選手のような自転車）を購入、とにかくどこかへ行きたいと、いきなり鹿児島自転車旅行に行ってしまったわけですが、その次の年には今度は北海道自転車旅行に旅立ってしまいました…。

（右の写真が今回の経路です。）

こう書くと皆さん、私のことをよほど何かすごい人（もしかして、変わった人？）だと思っているでしょうが、多分それは違います。

私の場合、ロードバイクに乗っているとんでも、下手をすると駅へ急ぐ女子高生の方が早いぐらいのへっぴこサイクリストである。多少旅行好きという程度なのでご安心を。さて、遠隔地を自転車旅行する場合の最初の課題は、自転車をどうやって現地まで運ぶか…。今回は事前に宅配便で送ることにした。支店止めにして、現地で回収するという方法があるのである。（しかし利用してみると、どうもあまり輸送中丁寧扱われなかったようだ。次回は別のやり方を考えよう。）私は往復飛行機で行くことにした。



時は平成19年9月24日。行きは関空から女満別（めまんべつ）空港へ。左の写真が出発風景である。

誰もいないではないか。待合にこんなだけ人がいないのは、汽車では慣れているが飛行機では初めてだ。

大丈夫か関空～女満別線。



夕刻に離陸。北海道は夕闇に包まれようとしていた。網走空港へ着いたのは夜の7時前。あたりはもう真っ暗である。さすがに北海道、関空までは半袖で余裕だったが、小雨のせいもあり空気がひんやりとしていた。空港からバスに乗って網走市街へ。



網走駅前、既に人気なし

今回旅行を計画して判ったのだが、道東の汽車のダイヤはととても少なく、観光地間の移動のチャンスは1日1回か2回しかない。（網走駅前に人がいないのは、そういうわけもあるのだ。）自転車旅行の場合、悪天候に見舞われた場合のオプション（公共交通機関等）を常に考えておかなければならないが、これだけ本数が少ないと、計画を立てるのも中々大変でした。



というわけで今日はこれ以上先へ行く手段がなく、網走で宿泊である。晩御飯は、駅前でみかけた「手ごねハンバーグの店VICTORIA」で。泊まったビジネスホテルだが、なぜか部屋は魚の干物のようなおいがしていた。



網走の朝である。いちおう晴れ。さあ、出発ですよ！

（次号へ続く）



# 酔っぱらいのたわごと 9



小児科 湯浅安人

小学校高学年のころは、ハエ釣り・ウナギ釣り・メジロ採り・伝書鳩の飼育・コガネグモの飼育など、生き物あいてに遊びまわっていた。なかでも雀(すずめ)採りは忘れられない思い出である。今回こそ「時効」というものがある。と信じて、この稿を書いている。おそらく、こういう経験のある方は少ないのでは。

今から五十年ほど前でも、小学生が睡眠薬を手することは当然法に触れることであつたはずである。だが子細は忘れたが(！)、とにかく、薬包紙に入った粉末の睡眠薬〇〇があつた。それを食べ残しのご飯粒に振り掛け、地面に置いた板の上に広げる。その板を雀の集まるニワトリ小屋の近くにおいておく。やがて、米粒を見つけた雀たちが屋根の上に集まつてくる。そのうち、一羽が勇気を出して地面に降り米粒を食べ始めると、次々と他の雀も降りてくるのである。

さてここからが、この計画が成功するかどうかの鍵である。つまり、米粒と一緒にたべた睡眠薬が効いてくるまで、雀たちをこの場所に引き留めておかねばならない。少なくともニワトリ小屋の屋根まで

には引き留めておく必要がある。そうしないと、薬を食べた雀が眠つても、十軒先の屋根の上では確保できないからである。

実は、一時間ほどこの空間にや猫の気配をさせず、雀を驚かせて逃がさないようにすることはそうとう難しい。人の気配で逃げしまし、努力が無駄になったこともあつた。その日の夕方に、近所の子どもが雀を三羽拾ったとかいって騒いでいるのを、横目で見ていることもあった。(「それはボクが薬で眠らせた雀なので返して欲しい」とは、さすがに言えない。)

約三十分ほどで薬が効いてくる。と、地面で眠つてしまふ雀もあるが、屋根や木の枝で丸くなつてコックリコックリし、やがて地面にポロッと落ちてくる。屋根の樋(とい)に引つかかつたりするものもある、十羽以上も(！)。

確保した雀たちは、鳥かごに入れて一晩おいておく。食べた量が少なかつた雀は翌朝は元気になる。欲張つてたくさんご飯を食べた雀は覚醒することなく永眠する。元気がなつた雀が焼き鳥になつたかどうかは、なにしろ還暦過ぎの酔っぱらいなので、もう忘れてしまった。

ところで、このコーナーの雰囲気、某スポーツ新聞掲載の安部謙二風になつてきた様な気がするのがあるが、どうでしょう。



## 『看護の日』イベント報告

8階病棟 小林 由衣

5月12日、この日が何の日かご存知でしょうか？「クリミアの天使」と呼ばれ、近代看護学の普及に尽くしたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日です。毎年5月12日は「看護の日」。そして、12日を含む週の日曜日から土曜日までが「看護週間」と呼ばれています。「看護の日」というと「看護師のための日なの？」と疑問を持つ方も居ると思いますが、それは違います。21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心を、老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるよう、旧厚生省により、「看護の日」が1990年に制定されました。2010年のテーマは『「感動看護」折れそうな心まで支えてみせる』です。全国各地では、気軽に看護に

血圧・身体測定・健康相談には約80人という多くの地域の皆さん、病院関係者が参加してくださいました。参加して下さった方には様様な記念品を差し上げていたのですが、カロリー表記のしているレシピ集は特に大人気でした。「これいいわ。わかりやすい」「勉強になるなあ」など、嬉しいお言葉もいただきました。BMIや腹囲の値の高かった方には食事や運動についての簡単な説明もさせていただきます。

まだまだ新人の私たちの説明ではわかりにくいことも多くあつたでしょうが、「今日来て良かったわ。ありがとう。」と言われたときは、看護の心を伝えることができたのではと感じ、本当に嬉しかったです。今回のイベントが参加して下さった方々の健康への関心に少しでも繋がれば嬉しいです。来年は、皆さんも是非、ご参加ください。



## 医療安全センター主催 クルージングパーティーにて



ふれることのできる楽しい行事が行われています。今年は「看護の日」が制定されて20年目、そしてナイチンゲールがこの世を去ってから、ちょうど100年目になります。

今年度、中央病院ではこの5月12日、1階外来図書コーナーにて、イベントを行いました。



「春風ターキイ」こと佐竹智子さんらの腹話術には保育園の園児たちや外来に来ていたお子さんにも大評判でした。

さすがプロ。まるで人形が喋っているみたいでした。園児たちがお礼の歌を歌っているときはまるで自分が親にでもなつたかのように感動してしまいました(笑)



【編集後記】夏といえばラジオ体操。最近ラジオ体操に第3弾があることを知りました。みなさん知ってました？(あ)